



ばいりん



令和6年3月号
横浜市立梅林小学校
TEL 045-773-0341
FAX 045-772-4862

伝える気持ち つなぐ思い

校長 芦垣 幸代

今年度も、「主体的に考える子」「思いや考えを伝える子」「受け入れる子」の育成を目指し、教育活動を行ってきました。「主体的に考える子」については、子どもが（発達段階に応じて教師と一緒に）単元の学習計画を立てたり、めあてをもって学習に取り組み振り返ったりということを行っています。あるクラスの国語の授業で、「じゃ、このために何する？」という教師の声かけに「まず〇〇！」「それから〇〇！」と子どもたちが次々と答えている姿がありました。子どもたちが主体的に学習をつくっていく様子が見られるようになっていきます。「思いや考えを伝える」については、苦手意識をもっている子どもがまだまだいます。でも、低学年などで生活科を核として十分対象と関わり、自分ごととして捉え、思いをもって活動していくことで、「聞いてほしい」「これを発見した」「もっとやりたい」というように、生き生きと語る姿もたくさん見られるようになりました。これは、他教科であっても自信をもって考えを伝える姿につながっています。中高学年でもグループやペアで話し合う活動の中で、相手の話に耳を傾け、自分の考えを広げている場面がたくさんあります。中学校ブロックで取り組んでいる「挨拶」。1月に学校運営協議会の委員の方々に授業中の子どもたちの様子を見ていただいたのですが、校舎内で「こんにちは！」と挨拶をする子どもがたくさんいることに驚かれ、「挨拶は家庭で教えることと思っていたけれど、学校でも学んでいるのですね。」とお話がありました。挨拶は、思いを伝える第一歩、相手を受け入れる第一歩です。

3月19日の卒業式では72名の卒業生が巣立っていきます。学校では、6年生を送るための様々な活動を、6年生から梅林小のリーダーを引き継ぎいた5年生が中心となって計画しています。どの学年も、これまでお世話になった6年生の姿を思い描きながら感謝の気持ちをこめて準備しています。

2月15日に最後の校外学習を終えた6年生も、これまでの日々に思いを馳せ、梅林小に残す気持ち、つなぐ思いを考え、自分を取り巻く人、もの、ことへの感謝の気持ちを大切に活動しています。

小学校という長い6年間には様々なことがあり、様々な困難もあったことと思いますが、子どもたちは、たくさんの方々に支えられ、大きく成長し、卒業していきます。支え、見守ってくださったすべての方々に心から感謝いたします。

